



豊丘中学校3年生を対象に福祉教育を実施しました。
第1回目は、5月13日にあるサポーター研修をうけ、「福

豊丘村で、ともに支え合い、
ともに生きていく

祉」を様々な分野から捉えられました。(※あいサポーターとは様々な障がい者の特性や、障がいのある方が困っていること、それ

ぞれに必要な配慮を理解し、日常生活でちよつとした手助けを実践していくサポーターです。)

第2回目は、5月20日に軍手を着用しての折り紙や筆記、また片手のみでの着替えをし、高齢者の指先の感覚や、麻痺のある方・けがをした方の体験をしました。また、日常生活で困っている方のイラストを見て、自分ならどう行動するかを考えました。

福祉の話や体験をとおして、生徒の皆さんからは、「福祉を幅広く捉えられるようになった」、「高齢になることや体の使いにくさを、自分だったら…と考えるようになった」など、今までとは違う視点を持てたという感想が多く聞かれました。

その視点をもとに、あらためて自分の周りや地域を見直す時間を持ち、「ユニバーサルデザイン」「送迎」「人のつながり」など、様々なテーマで学習を進め、豊丘村の現状や課題を知ることができました。ともに支え合い生きていく為に必要なことを、村への提案という形でまとめて6月22日にグループごとに発表しました。

この先、さらに一歩踏み込んで、『自分に何ができるか』を自分の言葉で表現します。

認知症サポーター養成講座(5ページに記載)も受け、福祉について学びを深めた豊丘3年生。地域を支える、頼れるサポーターです！



各テーマについての発表の様子



軍手をはめでの折り紙・筆記体験

社会福祉法人 豊丘村社会福祉協議会 役員等

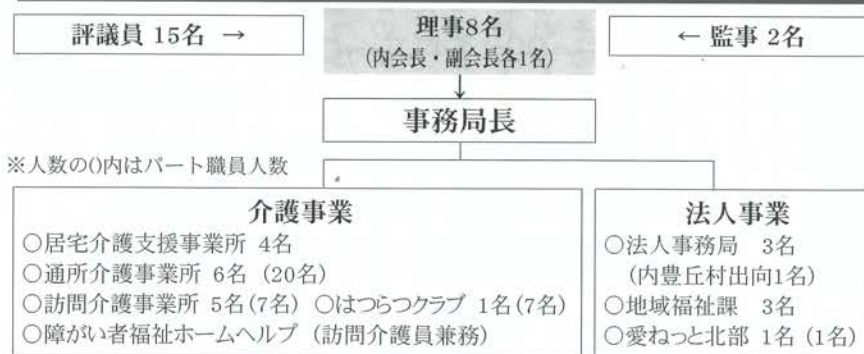
令和3年度豊丘村社会福祉協議会の役員、評議員、評議員選任・解任委員の皆さんをご紹介します。

理事・監事任期 令和3年6月23日～2年間

評議員任期 令和3年6月23日～4年間

役職名	氏名	職業・選出母体等	役職名	氏名	職業・選出母体等
会 長	篠 塚 実	行政書士	評議員	唐 澤 健	村議会議員
副会長	菅 沼 康 臣	副村長	評議員	片 桐 礼 子	民生児童委員
理 事	長谷川 義 久	区長会	評議員	菅 沼 和 俊	民生児童委員
理 事	木 下 進	商工会長	評議員	神 谷 敏 彦	身体障害者福祉協会
理 事	代 田 美智子	ボランティア団体	評議員	菅 沼 和 明	高齢者クラブ
理 事	池 野 育 子	サロン関係者	評議員	林 まつ江	堀越ボランティアの会
理 事	片 桐 茂 房	民生児童委員会長	評議員	市 澤 和 宏	公民館
理 事	桐 生 香	元赤十字奉仕団員	評議員	田 中 良	教育委員
監 事	寺 沢 宜 勝	元教育長	評議員	高 本 隆 光	信濃こぶし会
監 事	北 澤 福 一	税理士	評議員	松 澤 弘 樹	慈恵園
評議員選任・解任委員任期 令和3年6月23日～2年間			評議員	片 桐 宮 子	元主任児童委員
評議員選任・ 解任委員	寺 沢 宜 勝	監事	評議員	黒 田 美 佳	飲食業経営
	松 下 政 美	外部委員	評議員	酒 井 富 義	J A 監事
	大 倉 淳 司	外部委員	評議員	前 野 和 敏	農地利用最適化推進委員会
	小笠原 美 香	総務課	評議員	松 村 信 子	申告第三者委員

豊丘村社会福祉協議会組織図



通所介護事業介護員
林 俊
(令和3年5月1日付)

◎新任
事務局長
松田 光弘
(令和3年7月1日付)

職員異動

令和3年7月1日より豊丘村社会福祉協議会事務局長に就任しました松田光弘と申します。

自宅は飯田市にございますが、皆様には十年ほど前に約2年間近く豊丘村役場でお世話になった経緯がございます。

その節は大変お世話になり、ありがとうございました。この度、再び豊丘村社会福祉協議会に勤めさせていただく事になりました。

微力ではございますが、豊丘村の皆様が健やかで自立した生活が送れるよう一所懸命尽くしたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



事務局長 松田 光弘

就任ごあいさつ

令和2年度 豊丘村社会福祉協議会事業報告理事会・評議員会で承認された事業
報告・決算報告の概要を掲載します。**1 活動の概要**

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多くの事業が延期又は中止を余儀なくされ、感染対策も手探り状態の中での活動でありました。

活動に制約を求められる中で、高齢の皆様や障がいを持っている方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、より充実した福祉サービスの提供を目指し活動しました。

また、感染流行の影響を受けて職を失うなどした生活困窮者の方々への支援を行いました。

2 重点事項

- (1)高齢者・障がい者等の生活支援・生きがい対策の充実
- (2)社会的弱者の支援
- (3)介護サービスの充実
- (4)介護予防対策の充実
- (5)ボランティアの育成と活動の推進
- (6)結婚相談事業の充実
- (7)福祉事業の普及啓発

3 活動内容

- (1)高齢者・障がい者等への生活支援・生きがい対策の充実
 - ・「豊丘おてこ隊」による独居高齢者・高齢者世帯の日常生活支援 142回
 - ・認知症地域支援推進員による認知症の正しい知識の普及啓発、相談・支援
 - ・認知症カフェの開催
温かサロン：29名、よりみちカフェ：10名、ケアラズカフェ：18名
 - ・ヘルパー訪問による一人暮らし高齢者の安否確認（ヤクルト配布サービス）
 - ・福祉タクシー利用者証の発行と運営管理
福祉タクシー証登録者：1,133名（内妊産婦7名）、利用件数：12,171回、事業費：18,909千円余
 - ・高齢者・障がい者の「希望の旅」事業
中止とし、代わりに身体障がい者福祉協会主催の村との懇談会におけるお弁当配布や、一人暮らし高齢者を対象に年末中学生のメッセージ付き「おとしとりランチ」を配布
 - ・高齢者・障がい者等が組織する団体への協力及び支援
 - ・高齢者ふれあい地域サロン（8地域）の運営支援
延べ91回開催、1,639名参加 また、11月20日、サロン情報交換会を実施
 - ・「車いす対応軽自動車」の貸出
利用登録者に対し、1回300円、105回貸出
 - ・配食サービスの実施 1,093食
 - ・高齢者スポーツ大会（マレットゴルフ大会等）中止
- (2)社会的弱者の支援
 - ・くらしの相談の実施（民生児童委員・行政相談員連携）
毎月第4日曜日（原則）相談件数10件
 - ・豊丘村独自の小口資金（くらしの資金・医療貸付金）の取り組み
くらしの資金新規利用者5名、331千円、期末貸付残高1,026千円
 - ・生活福祉資金の活用などによる生活困窮者支援
 - ・日常生活自立支援事業の実施 2名の方に支援
 - ・信州パーソナル・サポート事業（生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援）
県の委託を受けて、教育委員会と連携して生徒2名への支援
また、令和3年3月6日、健和会病院小児科の和田浩先生を招いて学習会を実施
 - ・まいさば出張所（生活困窮者自立支援事業・就労支援事業・家計相談等の支援）の相談窓口・支援業務
- (3)介護サービスの充実
 - ・ケアマネージャーによる介護サービス計画の作成
959件のケアプランを作成
 - ・ホームヘルパーによる訪問介護
年間延べ派遣回数は9,522回（訪問介護：8,416回、総合事業：1,106回）
 - ・デイサービスセンター「ほほえみ」における通所介護
年間306日稼働、年間延べ利用者数7,892名（通所介護：6,769名、総合事業：1,123名）
 - ・はつらつクラブにおける予防通所介護

- 年間209日稼働、年間延べ利用者数3,650名
 - ・障がい者総合支援法によるホームヘルプ
年間延べ利用時間618時間
 - ・介護者ふれあい相談（村・地域包括支援センターと連携）
中止
 - ・ケアマネージャーによる介護相談実施
 - ・介護保険相談窓口の常設（地域包括支援センターと連携）
 - ・在宅介護者のリフレッシュのための日帰り小旅行 中止
 - ・在宅要介護者等のおむつ代補助
申請者数185名、事業費3,714千円余
- (4)介護予防対策の充実
 - ・ミニデサービス15地域（地域主催）への協力支援
81回の活動支援、延べ929名参加
 - ・ふれあい交流の促進（「おいでなんしょ会」「高齢者昼食会」等への補助）
おいでなんしょ会は76回開催、事業費129千円余
高齢者昼食会は36回開催、事業費870千円余
 - ・高齢者等見守りネットワーク模擬訓練の実施
（認知症の理解と啓発を図るため声掛け訓練）
10月4日、河野区の協力によりスタッフ24名、住民57名参加
 - (5)ボランティア育成と活動の推進
 - ・ボランティアの育成・研修の実施
 - ・ボランティアニーズの把握、情報発信
 - ・ボランティアの活動援助（ボランティア保険、謝金等の補助）
 - ・災害時の支援受け入れボランティアセンターの立上げ・運営訓練
訓練は中止。代わりに8月28日、令和元年台風19号豪雨災害によるボランティアセンターへの職員派遣の経験を踏まえ、防災に関する職員研修会を実施
 - ・「災害福祉カントンマップ」実証実験及び「災害時住民支え合いマップづくり」の説明会の実施（行政・地域との共同）
 - ・ボランティア登録数 個人：92名、グループ：12団体
 - (6)結婚相談事業の充実
 - ・村内の結婚希望者に関する情報収集及び「愛ねっと北部」と連携してのカップリング支援
 - ・「愛ねっと北部」の元気づくり支援金を活用したイベント・交流会への参画
 - ・近隣市町村との情報交換及び交流の会（天竜縁結びの会）
事業は、今年度当初に終了
 - (7)福祉事業の普及啓発
 - ・社協報（年4回）の発行
 - ・福祉啓発イベントの開催
福祉まつり 中止
健康と福祉のつどい 中止
 - ・ケーブルテレビにて健康講座 及び「災害時住民支え合いマップ作り」の取り組みを放映
 - ・福祉のニーズ調査・検討
 - ・赤い羽根共同募金の実施（10月から 募金額1,786千円）
 - (8)新型コロナウイルス感染症による支援活動
 - ・布マスク作り（4月～6月）
ボランティアに布マスク作りを依頼し、たくさんの布マスクを村内の福祉施設に配布
 - ・シトラスリボンプロジェクト（豊丘村教育委員会と合同）に参画
コロナ禍での差別や偏見による被害を防ぎ思いやりのある地域づくりを目指すため、ボランティアによるシトラスリボン作り
 - ・フードドライブ（困窮世帯への食糧支援）
年4回実施、お米ほか多くの食糧が集まり、困窮世帯へ支援
 - ・緊急小口資金特例貸付（長野県社会福祉協議会）の窓口相談
コロナ禍の影響で、休業等により収入の減収があり、緊急かつ一時的な生計維持が困難となっている世帯への貸付相談窓口を開設・支援

令和2年度 決算報告

法人運営

収入合計 79,123,744 支出合計 77,844,252

次年度繰越金 1,279,492円

(単位:円)

収 入			支 出			
区 分	R1決算額	R2決算額	区 分	R1決算額	R2決算額	内 容
会 費	2,477,500	2,430,500	法 人 事 務 費	18,846,399	20,650,858	役員報酬等
寄 附 金	269,901	460,000	地 域 支 援 事 業	24,226,783	22,405,829	高齢者昼食会補助金等
県・村補助金	71,498,716	68,850,727	結 婚 相 談 事 業	525,479	257,290	相談員報酬等
共同募金配分金	1,415,405	1,384,500	くらしの相談事業	80,600	72,700	相談員報酬等
受 託 金	4,174,796	3,699,789	ボランティア事業	1,284,327	869,136	ボランティア活動保険料等
償 還 金 収 入	327,000	360,830	福祉のまちづくり事業	20,862,757	19,509,178	福祉タクシー事業等
事 業 収 入	712,260	956,680	介護予防拠点施設管理事業	8,642,088	8,195,033	水道光熱費等
受取利息配当金収入	4,261	2,504	共同募金配分金事業	1,415,405	1,102,919	身体障がい者希望の旅助成金等
雑 収 入	133,851	58,188	北部地区結婚相談所事業	4,178,296	3,735,789	人件費・イベント経費等
固定資産売却収入	10,800	0	信州パーソナルサポート事業	0	167,717	ボランティア謝礼等
そ の 他 収 入	8,680	920,026	拠点区分間繰入金支出	450,082	415,840	退職共済預け金
前年度繰越金	673019		積立資産支出	273,947	461,963	運営基金積立
合 計	81,706,189	79,123,744	合 計	80,786,163	77,844,252	

介護事業

収入合計 177,291,422 支出合計 129,244,520

次年度繰越金 48,046,902円

(単位:円)

収 入			支 出			
区 分	R1決算額	R2決算額	区 分	R1決算額	R2決算額	内 容
居宅介護支援収入	16,793,910	16,094,750	居宅介護支援支出	20,102,387	19,495,476	人件費等
訪問介護収入	36,898,251	33,571,494	訪問介護支出	26,917,313	25,597,954	人件費等
通所介護収入	89,095,678	68,370,113	通所介護支出	89,702,608	65,225,469	人件費等
はつらっクラブ収入	13,902,380	10,710,600	はつらっクラブ支出	12,001,974	10,984,089	人件費等
障がい福祉収入	2,091,110	1,719,450	障がい福祉支出	2,091,110	1,719,450	人件費等
施設整備等補助金収入	1,291,680	941,600	固定資産取得支出	848,320	3,679,180	サーバー・パソコン
固定資産売却収入	1,874,516	0	ファイナンス債務の返済	970,704	970,704	介護ソフトリース
拠点区分間繰入金収入	450,082	415,840	積立資産支出	16,575	19,266	基金利息積立
積立資産取崩収入	0	0	退職共済預け金支出等	1,531,140	1,552,932	退職共済預け金等
退職預け金返還金収入	16,054,713	0	退職共済預け金移管金支出	8,724,620	0	退職年金共済差益
退職共済預け金移管金収入	878,227	1,059,000				
リサイクル料金預け金返還収入	111,520	0				
前年度繰越金	27,873,259	44,408,575				
合 計	207,315,326	177,291,422	合 計	162,906,751	129,244,520	

高齢者クラブ連合会 「春のマレットゴルフ大会」

6月17日、春のマレットゴルフ大会をアカシアマレットゴルフ場にて開催いたしました。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により、高齢者クラブの事業を開催することができませんでしたので、約1年ぶりの事業となりました。

参加者は45名、団体は5チームでの戦いとなりました。

コロナ禍ではありましたが、地域の仲間と久しぶりに会うことができ、参加者の方たちお一人お一人に笑顔があふれていました。

前日は雨が降り当日の天気



が心配されましたが、快晴の中、爽やかな新緑の中でマレットゴルフを楽しむことができました。

試合の結果は次のとおりです。

○個人成績

優勝 中塚 勝子さん
準優勝 壬生 守さん
第三位 片桐 京子さん

○団体成績

優勝 田村
準優勝 伴野
第三位 河野



認知症サポーター 養成講座開講

豊丘中学校の三年生を対象に、認知症サポーター養成講座を実施いたしました。

豊丘村の高齢者の現状、認知症の基礎知識、接し方を通して、認知症について正しい理解を深めてもらいました。また、認知症の方が、この豊丘村で安心して暮らし続けていけるように自分には何ができるのか、様々な視点で捉えてもらうことができました。

中学生の感想

・認知症は記憶障害だけでなくいろいろな症状があることを知った。

・認知症になるかならないかではなく、周りの人の優し



い見守りがあるかないかが大事。

・相手の言動を否定しない、自尊心を傷つけないようにサポートしたい。

・穏やかに優しく対応したい。

・認知症の人に困らず、周りに困っている人がいたら優しく声をかけたい。

・自分の一声で誰かが安心して暮らせるための第一歩となるようにしたいです。

この日、65名の認知症サポーターが誕生しました。

認知症について知りたい、サポーターに興味があるなど、認知症サポーター養成講座のお問い合わせにつきましては、豊丘村社会福祉協議会地域福祉課までご連絡下さい。

地域福祉課だよ

困りごとは人それぞれ…

仕事を探しているけどなかなか就職できない。

仕事の悩み

働きたいけど自信がない。

仕事が長続きしない。

生活のリズムをうまく作ることができない。

生活の悩み

長く引きこもっていたので人と関わることに不安がある。

今のままでは将来が不安。

一人で悩まないで
まずはご相談
ください!

家計の悩み

家賃が払えないので家を出なければいけないかも。

ライフラインが止められそう。子どもの就学費用が払えるか不安。

食べるものや着るものが買えない。

健康の悩み

持病を抱えながら働いていけるか不安。

病院に行きたいけどお金がない。

※地域福祉課では、コロナ禍で収入が減り、生活に困っておられるご家庭に食料品や衛生用品などをお配りしています。お困りの方は遠慮なくご相談ください。

ボランティアセンターだより No.38

豊丘村ボランティアセンター TEL 35-1122 / FAX 35-1123 E-mail: vcenter-toyooka@mis.janis.or.jp

ボランティア団体交流会開催

6月30日、豊丘村交流学習センターでボランティア団体の皆さんの交流会を開催し、豊丘村ボランティアセンターに登録されている5団体の皆様が参加されました。

コロナ禍でのボランティア活動ということで、感染症対策をとって活動を続けていらっしゃいます。

地域のボランティア団体の皆さんは、年に数回集まっていた高齢者の方達との昼食会を、『お弁当の配達』という形に変えました。「会所には行けないけれど、家まで届けてくれるなら…」と注文してくれる方もおり、地域の中で新たなつながりも生まれているようです。

また、絵本の読み聞かせ活動をしている団体も、感染対策をとりながら活動を再開しています。

コロナ禍での活動を継続し、つながりを絶やさないために工夫を重ね、地域の大きな力となっています。



令和3年度 第1回フードドライブのお礼

新型コロナウイルス感染症の影響により失業・休業が広がるなかで、日々の食料に困窮される家庭が増加しています。

令和3年度もフードドライブ活動を定期的 to開催します。第1回目は下記の通り多くの村民の皆様からたくさんの食料の寄付をいただきました。

ありがとうございました。

◎いただいた食品の報告をさせていただきます (支援食糧募集期間 6月7日～18日)

- ・お米(白米・玄米・もみ米) 301kg
- ・缶詰(シーチキン・鯖缶など) 22個
- ・レトルト食品(カレー・佃煮) 17個
- ・インスタント食品(カップ麺・ラーメンなど) ... 74個
- ・お菓子(せんべい・飴など) 13個
- ・飲み物(お茶・くず湯など) 9個
- ・調味料(砂糖・しょうゆ・カレールウなど) 9個
- ・乾物(焼きのりなど) 3個

皆様から頂いた食料は、フードバンクをはじめ、必要とされるご家庭にお届けさせていただきます。

9月には第2回目の支援食糧募集を行う予定ですので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。



社協会費にご協力をお願いします

皆さんが暮らしている地域では、ちょっとした助けを必要としている人や、困りごとを抱えている人などさまざまな福祉課題・生活課題を抱えている人がいます。

社協はそういった人たちの問題を解決し、地域全体をより良くするため、住民の皆さんや行政などと協力して「誰もが安心して暮らせる豊丘村づくり」を目指して活動しています。

社協会費は7月から8月にかけて隣組長さんにご依頼し、村民の皆さんに納入いただいています。

<会費の種類>

- 一般会員（1世帯） 一□ 1,000円
- 賛助会員（個人） 一□ 3,000円
- 法人会員（事業者） 一□ 3,000円～

<社協会費の使いみち>

- くらしの相談事業
- ボランティア育成事業
- 障がい者支援事業
- 軽リフト車貸出事業
- 福祉のまちづくり推進事業

■社協会費Q&A

Q：社協会員になった覚えはないよ…

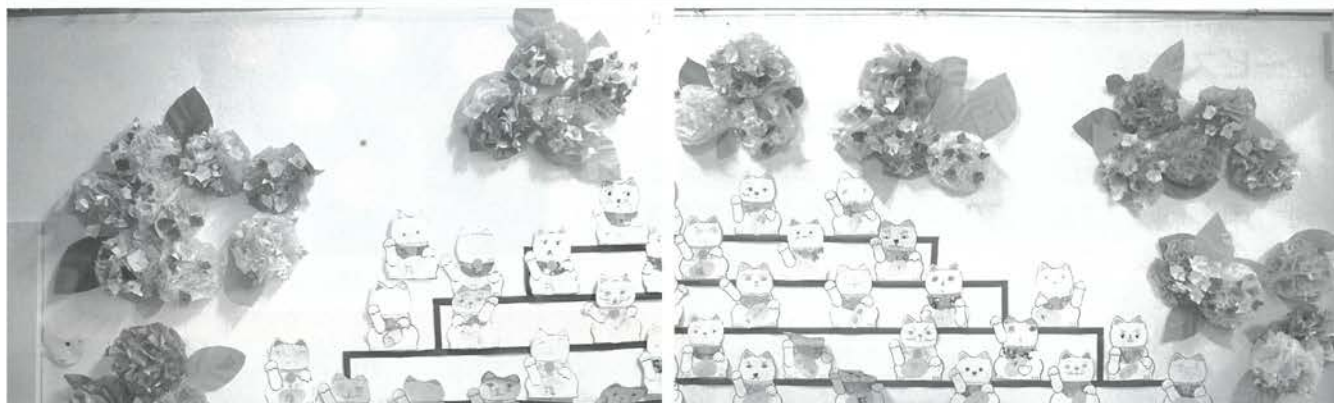
A：社会福祉協議会は、住民の皆さんの自らが地域づくりに参加して、地域福祉を推進することを目的とした団体です。このため住民自身が会員として社協の基盤を支えています。

Q：どうしても出さなくてはいけないの？

A：社協会費は強制的なものではありません。昨年に続くコロナ禍で経済的・精神的に苦しい方もおられることと思いますので、ご賛同いただける方にご協力をお願いいたします。



デイサービスセンターほほえみ便り



利用者さんの作品「あじさいと招きねこ」

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種はお済ですか？

ワクチン接種が済んだ方も、当分の間は今まで通りマスクの着用、手洗い・消毒、検温などの感染症対策をとってまいります。

じめじめした日が続いていますが、デイサービスセンターほほえみでは、エアコンで温度・湿度調節をして快適な空間で、七夕まつりや工作などを楽しんでいます。

はつらつクラブ

いつまでも元気でいたいあなたに

お勧めします！

はつらつ 月・火・木曜日

サービス時間 1コース 9:30~11:30
2コース 13:30~15:30

サービス内容

送迎・健康チェック・ゲーム・体操・
レクリエーション・買い物(食料品)など

利用料 1回 300円
(お茶菓子代を含む)



劇団ふたりツラによる演芸



利用者さん達による季節の壁画(朝顔)

趣味を楽しむ会 水曜日

サービス時間 1コース 9:30~11:00
2コース 13:30~15:30

サービス内容

送迎・健康チェック・手芸・カラオケ・演芸鑑賞など
利用料 1回 300円(お茶菓子代を含む)

※材料費は別途いただきます。

ころばん塾 金曜日

サービス時間 1コース 9:30~11:30
2コース 13:00~15:00

サービス内容

理学療法士や柔道整復師の先生による
介護予防体操・送迎・健康チェックなど

利用料 1回 300円(お茶菓子代を含む)



利用者さん達による季節の壁画(花火)



理学療法士による体操

ご利用をご希望の方は…

豊丘村役場 地域包括支援センター
(35-9064)

または

豊丘村社会福祉協議会 はつらつクラブ
(35-3327)

どちらでもご連絡ください。